

# 園でつながる縁



## ～コミュニティホールが果たす役割～

### ★主な利用スケジュール★

- 子供和太鼓(毎週日曜日)
- 喫茶あいあい(毎週第1・第3火曜日)
- 法話(毎週第3土曜日)
- 太極拳(毎週月・火・水・土曜日)
- 民謡(毎週月曜日)
- カラオケ(毎週木・金曜日)

※スケジュール変更することあり

令和2年2月現在

愛全園では、地域との交流の場として9時から21時まで【コミュニティホール】を開放しています。

私達は主に、職員会議や勉強会で使用しています。それ以外に地域の方がどのように活用しているのか、あまり知られてないようです。

そこで今回は、コミュニティホールの活用方法や地域との『つながり』について、ご紹介します。



すごい!  
迫力!

利用者の方も聴き入っています

毎週日曜日の午前から夕方まで「子供和太鼓(幸太鼓)」の方が練習にいられて、太鼓の勇ましい音が園内に響き渡っています。いつもは定期的な練習ですが、昨年行われた愛全園祭に参加していただき、職員と合同で太鼓を披露しました。

その後も園のクリスマス会で、迫力ある太鼓を利用者の方に披露されていました。

迫力ある子供和太鼓



職員も負けていません



### 喫茶あいあい・法話での様子

第1、第3火曜日の午後から約1時間程度、地域の方が集まり、コーヒーやジュースを飲みながら話をしたり、トランプやオセロをして楽しんでいらつしゃいます。

参加された方からは「みんな、近所だが話す機会がないので良い機会になっている」「生きがい」とうれしそうに目を細めて話されています。



お話できて楽しい～♪



もっとお布施しないかね(笑)



第3土曜日には鯖江の浄善寺の藤田智賢御住職に來ていただき、地域の方はもちろん、園の利用者の方も法話に参加されています。

法話を聞かれた後は「毎回、良い話が聞けてありがたいです」「いつも笑わせてくれます」と皆さんの笑顔がみられていました。

これらをきっかけに愛全園を知ってもらうことができ、愛全園の利用者の方と『つながり』をもつことができました。

### 避難所としての役割

愛全園は地域における『福祉避難所』としての役割も担っており、自然災害時は主にコミュニティホールが受け入れの場所として活用されます。

昨年11月5日には、地域の方と一緒に、災害時を想定した炊き出し訓練を実施しました。

天候に恵まれたこともあり、コミュニティホール横の屋外にて備蓄品を活用してカレーを作り、新たなコミュニティホールの活用場として知ってもらうよい機会となりました。

カレーおいしそう!



地域の方と職員で協力して作りました

### 記事作成者より

今回コミュニティホールの活用状況について振り返ることができました。愛全園のコミュニティホールを活用していただくことよって地域の方々との「つながり」を感じる事ができました。

この記事を読んでいただき、コミュニティホールをより多くの方に知って活用していただけたらうれしいです。

### 地域担当生活相談委員より

コミュニティホールを開放して数年の時が過ぎました。利用者の方も気兼ねなく参加していただける内容が増えてきました。

園から縁に「つながり」の輪が広がっています。今後もこの関係がより深まることを願っています。